

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	証券取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成18年10月10日
【事業年度】	第35期（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）
【会社名】	株式会社スルガコーポレーション
【英訳名】	SURUGA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩田 一雄
【本店の所在の場所】	横浜市神奈川区台町15番地1
【電話番号】	045(314)0361(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部総括 伊藤 佳之
【最寄りの連絡場所】	横浜市神奈川区台町15番地1
【電話番号】	045(314)0361(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部総括 伊藤 佳之
【縦覧に供する場所】	株式会社スルガコーポレーション東京支店 (東京都港区新橋三丁目1番9号 SURUGA新橋3丁目ビル) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成18年6月29日に提出した有価証券報告書（事業年度（第35期）自平成17年4月1日至平成18年3月31日）の記載事項に一部訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 1 業績等の概要

##### (2) キャッシュ・フローの分析

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_線で示してあります。

## 第一部【企業情報】

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

(訂正前)

#### (2) キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、不動産事業受入金等約37億円の減少および仕入債務が約7億円減少し、並びに、新規土地取得により不動産事業支出金が約107億円支出増加となったため111億67百万円（前期比111億65百万円増）の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規土地取得に関わる貸付金が約17億円増加したことにより16億62百万円（前期比16億62百万円増）の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、約59億円の社債発行および新規土地取得に伴う借入金約133億円の増加により、177億64百万円（前期比177億57百万円増）の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物は49億33百万円増加し、期末残高は124億50百万円となりました。

(訂正後)

#### (2) キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、不動産事業受入金等約37億円の減少および仕入債務が約7億円減少し、並びに、新規土地取得により不動産事業支出金が約107億円支出増加となったため111億67百万円（前期比91億29百万円増）の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規土地取得に関わる貸付金が約17億円増加したことにより16億62百万円（前期比19億32百万円増）の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、約59億円の社債発行および新規土地取得に伴う借入金約133億円の増加により、177億64百万円（前期比113億59百万円増）の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物は49億33百万円増加し、期末残高は124億50百万円となりました。